

# — 同志社大学 —

2月6日 文・経済学部 英語

## 解答

〔I〕

- A. (X) 2 (Y) 2 (Z) 4  
B. (a) 2 (b) 4 (c) 3 (d) 1 (e) 3 (f) 1  
(g) 4 (h) 1 (i) 1  
C. (ア)2 (イ)1 (ウ)3 (エ)4  
D. 5 / 2 (3-5-6-1-7-2)  
E. 1 / 3 / 7

〔II〕

- A. (X) 3 (Y) 4 (Z) 1  
B. (a) 2 (b) 2 (c) 1 (d) 4 (e) 2 (f) 2 (g) 2  
C. (ア)4 (イ)1 (ウ)4 (エ)3  
D. 2 / 5 (7-2-4-1-5)  
E. 4 / 7 / 8  
F. 私たちは自然界に捧げられた地球の領域を十分に拡大して、その中に生息する生命の多様性を救わなければならない。

〔III〕

- A. (a) 4 (b) 10 (c) 3 (d) 8 (e) 7 (f) 1 (g) 2 (h) 6  
B. No other artists focused on such a daily scene until he came along.

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

## 解 説

〔Ⅱ〕

A

- (X) 原因を表す分詞構文を問うている。節に戻せば以下の通りになる。  
 Because I have served on the boards of ~ 30 years, I know very well the sweat ….  
 これを分詞構文にするには、接続詞 **Because** を消し、主節と同じ主語の **I** も消し、**have served** の **have** を **Having** にすればよい。よって、3.**Having** が適切である。
- (Y) **agree on (upon)** ~ 「~について同意する、~について意見の一致を見る」というイディオムが過去分詞になったものである。したがって、4.**upon** が適切である。
- (Z) **take A into account / take into account A** 「A を考慮に入れる」という基本イディオムの出題である。1.**account** が適切である。

C

- (ア) 語彙言い換えの問題。まず、**many victories** 「多くの勝利」が 選択肢 4 の、**a number of accomplishments** 「多くの成就」へ言い換えられている。また、**a losing war** 「負け戦」は比喩表現で「結局勝つことはない勝負」ということ。これを言い換えたのが4の後半の **insufficient to achieve the ultimate goal** 「最終的な勝利を得るには不十分」ということなので、4 が適切である。なお、1 は後半の **have caused defeat** 「負けを引き起こす」が誤り。
- (イ) **Unless** 「~でない限り」が **As long as ~ not** で、**humanity** 「人間性、人類」が **human nature** で、さらに **suicidal** 「自滅的な」が **self-destructive** でそれぞれ言い換えられている 1 が適切である。
- (ウ) **out of the blue** は「思いがけず」という意味の慣用句。4.**unexpectedly** 「思いがけなく」が言い換えになっている。
- (エ) **boots on the ground** の意味はわからなくても、その後続く英文「フィールドの生物学者によって導かれる種の発見と分類のルネサンス」から推測していくことはできるだろう。これは比喩表現になっており具体化すれば、3.「生物学者による実験室外部での調査」が適切である。

D

前置詞 **without** の後ろに、受動態の完了形の動名詞をいれられるかがポイントであった。

**Most species still alive (7 will) (2 disappear) without ever (4 having) (1 been) (5 recorded).**

以上のように並べると、(い) が 2、(お) が 5 である。

E

解答の根拠を以下に示す。

1. 第3段落 1、2文目に反する。
2. 第4段落 1文目より、to protect only the land の only は不要。
3. 第5段落 1、2文目より the nearest mainland ecosystem が誤り。
4. 第6段落 1、2、3文目を要約したもので、正解。
5. 第8段落最終文より、have already been discovered の部分が誤り。
6. 第9段落 2文目より、minimal の部分が誤り。
7. 第11段落 1、2、3文目を要約したもので、正解。
8. 第12段落全体を要約したもので、正解。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！